

	さいたま市立慈恩寺小学校 令和5年6月30日 7月号 〒339-0009 さいたま市岩槻区慈恩寺259 TEL 048-794-1140 / FAX 048-795-0377 学校 Web ページ URL: https://jionji-e.saitama-city.ed.jp/
---	---



なすことによって学ぶ 夏 ～Let's Learn by Doing in Summer～

かさばら よしみ
校長 笠原 芳美

子どもたちが楽しみにしていた水泳学習が始まりました。プールからは「1, 2, 3, 4・・・。」と、2人組バディによる安全確認を行うための声が聞こえてきます。プール開きの際に発表してくれた「だるま浮き10秒が目標です。」「息つきができるようになりたいです。」「去年は25mクロールで泳げたので、今年は平泳ぎ25mを目指したいです。」など、子どもたちは目標達成に向けて練習に取り組んでいます。

今までは、夏に学校のプールで水泳を学ぶことが通常でした。昨今では、民間のスイミングクラブのプールで水泳学習を行っている学校もみられます。これからの学校教育は「学びの保障」と「学びの充実」を進めるために「令和の日本型学校教育」が掲げる個別最適な学びと協働的な学びの実現が大切です。併せて、子どもたちのよりよい成長のためには、変わらずに大切にしなければいけないことがあります。

アメリカの教育学者デューイは「人は、経験したことから学ぶことが多い。だから、自分の経験したことを基に考えを深めることでさらに成長し、その経験を価値付けていくということを繰り返していくことが重要である。」と述べています。タイトルにあります「なすことによって学ぶ(Learning by Doing)」はデューイによって提唱された教育の概念です。学校の授業など、誰かから一方的に話を聞いて知識を得るという手法ではなく、学ぶ側も一緒に実践し、体験することで学んでいく手法を指すものです。

さて、先日開催された第1回学校運営協議会(年3回実施)では、学校運営協議会委員の皆様と「子どもたちにどのような力を身に付けさせたいか」についての熟議を行いました。それぞれが、自分の立場から考えた次のことを熱く語っていただきました。「郷土愛を育てる。お寺や神社、地域を大切にすること。」「自分のルーツを知る。親子、親戚とのつながり。」「日本の伝統を継承。お盆、お墓参り、おせち料理など。」「人とのかかわり。世代間との交流。コミュニケーション力。」「決まった金額を持って、自分で買い物をするなどの様々な経験。」「自分から発信する力。自分の言葉で伝える。」「何かを続けること。」「がまんする力。くじけない力。」「基礎学力。」等。

今回の学校運営協議会を通して、あらためて子どもにとって経験から学ぶことの大切さとともに、学校、家庭、地域との連携、つながりが必要不可欠であることを実感しました。これからも、未来の担い手である子どもたちの健やかな成長のために、それぞれの立場で何ができるのか、そして学校と何を連携していくのかを熟議し実現してまいります。

子どもたちは、この3年間はコロナ禍により制限のある生活を送ってきました。特に人とのかかわりや体験活動を経験する機会が多くはありませんでした。「なすことによって学ぶ」教育が今、求められているのです。

1学期も残すところあと3週間となりました。この夏休みは「なすことによって学ぶ」38日間となりますように、埼玉県、さいたま市、岩槻区などが主催する地元の催し物に参加したり、日本の伝統行事を体験したりと、学校では経験することができない様々な体験を親子で行ってみてはいかがでしょうか。

ちなみに我が家では、娘が小さい頃は夏休みになりますと、ビニルプールをベランダに出していました。娘は夫と一緒に水遊びをして楽しんでいました。そのおかげかはわかりませんが、娘は泳ぐことが大好きになりました。

6月22日、6年生と一緒に社会科見学に行っていました。行き先は、九段下の昭和館と国会議事堂です。子どもたちは、案内人の方の説明をしっかりと聞いたり、展示物を熱心に見たり、メモを取ったりと見学態度が大変立派でした。学校での事前学習や自主学習がいかされていると感じました。参議院の職員の方に「先生方の態度や話し方、子どもたちの聞く姿が大変素晴らしい。」とお褒めの言葉を頂戴しました。今まで何度も訪れておりますが、このように話しかけられたのは初めてです。慈恩寺小学校の子どもたちと教員を誇らしく思いました。これは、保護者、地域の皆様が子どもたちのよりよい成長のために御協力いただいているおかげです。心より感謝申し上げます。

【お知らせ・お願い】

○学校運営協議会(コミュニティ・スクール)について

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)では、地域住民、保護者等が「教育の当事者」として学校運営に参画し「地域とともにある学校」として、子どもや学校の抱える課題解決に向けた取組を進めていきます。

今年度は、6月21日(木)に第1回目の会合を開催しました。小学校の運営に関する基本的な方針を承認していただきました。また、「子どもたちにどのような力を身に付けさせたいか」「学校・家庭・地域と一緒にできることは何か」について熟議を行いました。運営協議会委員の皆様には、御多用のところ御参会いただきありがとうございました。

【令和5年度 学校運営協議会委員】(敬称略)

会長	鹿室自治会長	新井 英雄		
副会長	鹿室南集会所長	駒宮 寿夫	交通指導員	遠藤 実
	主任児童委員・チャレンジスクール実行委員長	深井 幸子	慈恩寺中学校長	福田 博志
	裏慈恩寺貝塚自治会長	丸山 朝夫	慈恩寺中学校PTA会長	新井 有理
	グリーンcrest前自治会長	星 富夫	慈恩寺小学校PTA会長	村上 加奈恵
	慈恩寺小学校長	笠原 芳美	慈恩寺小学校教頭	尾坂 俊哉
	慈恩寺小学校地域連携コーディネーター	山岸 祐子	慈恩寺小学校教務主任	大和田 悠

○防犯ボランティア連絡会について

6月15日(水)の会議では、防犯ボランティアリーダーの中里様や、防犯ボランティアの皆様から、子どもたちの安全を守るためにたくさんの御意見をいただきました。一部紹介しますので、御家庭でも安全についてお子さんと御確認ください。

①防犯について

- ・犯罪を防止するには、まわりをちょっと見る、声をかけるなど、普段の生活の中で「ながら見守り」していくことが大切である。
- ・地元の人が子どもの安全を守っている。地域住民や保護者の輪を広げ、仲間をぜひ増やしてほしい。
- ・顔見知りの皆さん同士であいさつをすると防犯になる。保護者の皆さんには、自分の子どもや知っている子だけでなく、子どもたち全体にあいさつ(声掛け)をしてほしい。

②登下校で「危ない」と感じていること

- ・大声で叫んだり、防犯ブザーを鳴らして遊びながら下校している児童がいる。
- ・水が出る場所を子どもがのぞいている。
- ・下校時、子どもが走っているが、注意してもやめない。

③その他

- ・走って転ぶ児童が多いため、活動の際は、絆創膏を持ち歩いている。
- ・旗振りがなくても、安全確保のため、左右確認し、手を挙げて渡るようにしてほしい。
- ・信号がかわる直前(点滅信号)に、飛び出して走って渡らないようにしてほしい。

☆皆様方よりいただいた御意見は、学校でも今後の安全指導に活かしてまいります。ありがとうございました。

○第2校舎(1~4年生、たんぽぽ学級)のトイレ改修工事について

期間:7月21日(金)~10月末(予定)

中門(体育館側)や裏門(南側)から本校の体育館前駐車場内に工事関係の車両が入り出します。体育館側を利用される場合は、十分気を付けてください。2学期の8月29日(火)~10月末までのトイレの使用箇所やルール等につきましては、後日お知らせします。

○1学期末の会計報告について

1学期中の集金に御協力いただきありがとうございました。今年度より、会計報告につきましては、学校HPに掲載のみとし、紙媒体の配付はありません。御了承ください。なお、学校HPへの掲載は7月末の予定です。

授業参観・懇談会に御出席いただきありがとうございます。子どもたちが安全に学校生活を送ることができたのは、保護者や地域の皆様、温かい励ましの言葉かけや防犯ボランティア活動等における御協力のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。2学期も引き続きよろしく願いいたします。